

緊急シンポジウムの参加者にはアンケートへのご協力をお願いしました。質問項目は「Q1 八代市厚生会館について、あなたの思い出を教えてください」「Q2 閉鎖が発表された厚生会館の現状について、あなたの思いをお書きください」「Q3 当会では、これまで厚生会館で公演されたものの写真を集めております。(今後、思い出パネル展、冊子を制作予定)もし、お持ちの方がおられましたらお知らせください」という3つです(他に名前、年齢、居住地の記入欄と、お名前を公表してもよいかどうかを確認する質問あり)。

約160人の参加者のうち、何と100人が「Q1」～「Q3」のどれかで回答を寄せてくださりました。今回、中でも「Q2(厚生会館の現状に対する思い)」の全回答、93人分を数回に分けて掲載していきます。

なお、「再開を求める会」事務局で、回答を分類し、小見出しをつけました。年齢、居住地に関して、「市内」とあるものは「八代市内」、「——」とあるものは「未記入」を意味します。

■ Q2 閉鎖が発表された厚生会館の現状について、あなたの思いをお書きください。

【厚生会館の価値、位置づけ、存在意義に関連して】

◆戦後、環境を取り入れた最初の建築物。八代にとって残すべき。これからの観光資源でもあり、教育の場として、ものを大切にすることを子供たちに教えるためにも残すべき。(70代、市内)

◆たいへん残念でした。八代市の象徴のようなたたずまいのホールがなくなるのは、受け入れるのが難しいです。存続を願います。(50代、市内)

◆厚生会館は、八代宮を中心に八代の歴史・文化の中心であり、八代の文化の軸足をしっかりと発展させてほしい。現状では、文化的要素が分散されているように思える。(70代、市内)

◆厚生会館は八代市のシンボルです。(——、市内)

◆厚生会館の入り口、ここは今、八代の文化の顔とも言うべき玄関口です。そこに雑然とベンチ、自動販売機、そうじ道具などが置かれ、とてもみっともなく、八代市の厚生会館の扱いのひどさが目に見えるようです。厚生会館はデザイン、建物の細部に至るまで重厚で、すばらしく、今どれだけの建設費をつぎ込んでもこれだけのものはありません。この個性を生かす人材を公募し、この宝を大切にしていくことは、八代の文化に対する姿勢を内外に示すこととなります。アンティークで格好良い厚生会館を、八代の未来の子どもに残してください。(——、市内)

◆これからも音楽、劇、その他いろいろのことに利用できるような会館を残してほしいです。(80代、市内)

◆市が能楽堂を手放して40年経とうとしています。今回は八代市民の文化的発信源ともいえる建築物まで解体する方向性に危機感を覚えます。未来の子どもたちに八代の文化的、歴史的価値を伝えていくために、我々大人が教育面からもアプローチして取

り組んでいくべき問題だと考えています。(40代、市内)

◆解体しないでほしい、絶対に。これまでに利用してきた古いものを大切に残し、活用して行ってほしい。そんな八代市であってほしい。そんな八代市にしたい。松井神社前の道路から、八代宮、でんでん館と並んで、どっしりとした厚生会館のたたずまいを見て、「ああ、これはしっかり残していかなければ」と改めて思いました。(70代、市内)

◆市民合唱祭に長年参加してきて、ステージで歌ってきた私としては、まさか閉鎖になるとは思いもしませんでした。建物は古くなったかもしれませんが、重量感のある、そして音響も良くて、観客もたくさん入ることができて、とても良いホールだと思います。この貴重なホールを残してほしいです。市長を始め、その関係者の方々に厚生会館の良さを知ってほしいです。壊さないで、と願います。(60代、市内)

◆多くの皆さま(音楽関係者含む)が口をそろえておっしゃる「ほこれる音響」をぜひ実現してほしいし、この本物の音を未来に届けるのは、すばらしい八代人の責務だと思います。(50代、市内)

◆ハーモニーホールに集中しているので、予約がとれない。子供たちの健やかな心づくりのためにも、文化活動は大切。市民の身近な会館として残してほしい。コミュニケーション力をはぐくむためにも、自己表現の場が必要。(40代、市内)

◆文化的な建物を後世に残していく。それぐらいの余裕を八代市も持っていただきたい。(60代、市内)

◆細川さんのアートポリスの建物より遺す価値のある建物だと思っています。予算さえ確保できれば、いいですね。(60代、市内)

◆再開させるべき。100年後、200年後、八代の宝になると確信している。(70代、市内)

◆多くの思い出が消え去るような気がする。(――、市内)

◆とても悲しいです。楽しい思い出がなくなってしまうようです。(60代、市内)

◆このように広いりっぱなホールが亡くなることは、八代の文化を大切にすることができなくなるのでは?と、心配です。ぜひ、何とかして残していけたら、と願っています。(60代、市内)

◆八代城跡、厚生会館、裁判所、博物館、松井神社、松浜軒の並びは八代の唯一の景色であります。討論の中で、市議会の多数決のギモンを感じた。(――、市内)

◆この時代の建物はとても重要。近代のホールの先駆け。ぜひ残してほしい。(60代、八代市外)

◆文化的に価値のあるものを壊してしまえば、何もなくなってしまう。八代市役所の方々には、八代市厚生会館の価値を今一度、考えてほしい。なくしたくない。子どもたち(中学生時代)の思い出を壊したくない。(60代、市内)

◆必要を願う市民に、ぜひ予算を付けてほしい。八代文化向上のため。八代市に似合

った建設物で、市民が集いやすい地域である。最適の場所である。(80代、市内)

◆いいものは大切に、文化が育たないところは街も育たない、と聞いたことがあります。八代市は周辺の街に負けない街として、復旧していくためにも残すべきだと思っています。(70代、市内)

◆何とすばらしい場所に厚生会館はあるのでしょうか。本当の中心部にあることで、ぜひ残してほしいです。(80代、市内)

◆他に良い会館ができたとしても、厚生会館ほど良い会館はないと思います。どうして、いたんだ所を修理してよみがえらせるってことができないのですか。本当にもったいない。(70代、市内)

◆とても残念な思いです。これからの未来の子どもたちの、文化に触れる機会が少なくなります。(70代、市内)

◆偶然、FMやつしろで、厚生会館が解体の危機にあり、しかも国際的に著名な音楽家の方が「東京、大阪、八代の音響が素晴らしい」と発言されたと知って、厚生会館がどんなに貴重な建物で唯一無二の八代になくってはならない存在であるかに気付かされました。また、広報やつしろ6月号の記事を読み、新八代駅周辺の開発に関する詳しい数字を出さずに、厚生会館のことだけを一方的に取り上げる手法に違和感を覚えると同時に不信感を抱きました。国内外の情勢や景気を考えれば、新しいものを作るより、現在あるものを補修し、皆で知恵を出し合って大切に使う方がいいのではないかと。解体してしまえば、二度と取り戻せない素晴らしい建物であることを、市長に理解を求め、建物の存続をお願いしたい気持ちでいっぱいです。開館落成時の当時の市長の録音テープを中村市長は是非聞くべきです。熊本市からシンポジウム参加者の方も、同じことをおっしゃっていました。また熊本城で吉永小百合さんの朗読と坂本龍一さんの音楽会があったそうですが、音響が良くなかったそうです。(――、市内)

【劣化度、耐震、耐用年数に関連して】

◆建築そのものが震度7に耐えられる工事をしたばかりで、あまりにもおかしいことだと思います。構造上問題な建物を壊すことは、単にでんでん館の駐車場として解体することは、ばかげています。でんでん館を本町通りに面した所になぜ建てなかったのか。街の活性化にまったくつながっていません。厚生会館は本当に八代市民の文化のみなもととなるものであり、博物館や図書館と並び、文化の殿堂としてあるべきです。(70代、市内)

◆こんなに立派な会館を壊すのはしのびない。こわれてどうしようもない状況ならともかく、まだまだ使える会館です。永く使ってほしいものです。(70代、市内)

◆でんでん館を作るために閉館し、でんでん館ができたなら、再開されると思っていました。なのに、突然の厚生会館再開中止の連絡。熊本地震後の耐震対策もちゃんとな

されたと聞いています。確かに座席は少々狭いですが、音響や舞台装置等はすばらしいと聞いています。まだ使えるものだから、私も残してほしいと思います。壊してしまったら、もう元通りにはなりません。山鹿市の八千代座も、古い施設ですが、手を入れて現在も利用されています。(60代、市内)

◆残念でしかありません。できれば再検討していただきたい。また、その機会をつくってほしいです。大規模改修が必要で危ない状態にあるものだと、まったく違う認識でした。(シンポジウムを聞いて) 目からウロコくらい、びっくりしました。これから、再開のために何ができるか、しっかり考えたいと思います。今日はこの機会をありがとうございます。認識不足で、すみません。(50代、市内)

◆今回初めてこのような学習会に参加し、厚生会館の使用可能な事実にはびっくりしています。事実を知らないことを反省。使えないため、とだけ聞いていたのです。(60代、市内)

【改修費に関連して】

◆市報の予算(改修費)を見て、正直、驚きましたが、本日参加して正しい予算(改修費)を知り、この最低限度の維持管理費用で維持していただきたいです。市役所を建て替えたばかりで、一カ所の建築費(解体費)ばかりに税金を使われるのはどうかと思います。もっと他に予算の使い道があると思います。松浜軒の塀など、どうしても解体しなければ隣の家屋が危険な民家もたくさんあります。空き家問題としても予算がかかりますので、全体を見て分散してほしいです。きれいな街並みにも予算を欲しいと思います。(50代、市内)

◆使ってこそ価値があるはず。市の予算に限られる中、修理等で対応できるはず。(70代、市内)

◆別館を解体し、でんでん館を造られたとのことですが、再開するために多額の費用がかかることは分かりますが、自治体が行う文化事業に費用対効果を求めることはいらないと思います。(60代、市内)

◆なぜ解体か、疑問。国内でも昭和の建物が文化財になりつつある。海外でも100年の建物が改修されて存在します。建物としてではなく、「文化」として残す建物では? 金のかけどころで、今回は無駄でも、必要では? 文化と金の対比は難しい。(60代、市内)

◆現在、この内容のものを作るとしたら、かなりの予算がかかると思います。音響一つにしても、なかなかできないと思います。年数がたっても、使える良いものは大事にしてほしい。少数派の意見を大切に。納得のできる決め方をしていただきたい。議会の多数決で決めることに寂しい気持ちでいっぱいです。(60代、八代市外)

◆必要最小限の修繕を施して再開するべき。(70代、市内)

◆知人より、音響のすばらしさや能舞台の話聞き、いろいろな方の話も聞きたいと

思い、参加。建物としてどう再生できるか、利用の仕方等、気になる。ただ残すだけなら、維持費等、市民の負担になるのかも。(60代、市内)

◆改修に20億円かかったとしても、新たに建てると、もっとかかる。八代市は伝統的に、古い遺構を大切に改修・保存を重視して、市外の人や若い人に伝える姿勢が弱い。理由は、古いものを壊せば、誰が得をするかを考えればよい。土木建築業及びその関連業者である。彼らを支援して何らかの利得がある議員が政策を誘導するからである。松浜軒の長塀が老朽化したのは、何十年前からだ。壊れる寸前まで放置していたのは、象徴的なことである。きっと土木建築業者、議員にとって、少額の工事は目じゃないのだろう。(70代、市内)

【閉館等が決定される経緯に関連して】

◆「なぜ閉館なの？」というのが率直な疑問でした。さっぱり経緯がわからず、市民にもっと丁寧な説明が欲しい！(80代、市内)

◆新しいホールを造ることありき、厚生会館は壊すことありきと、市が強引に話を進めているように感じます。充分使える厚生会館を壊すなんてもったいない。八代市の規模に不釣り合いな新しいホールを建築する方が無駄遣いだと思います。(60代、市内)

◆八代市に①撤去理由の詳細②撤去工費の詳細、を全市民に周知してほしい。(80代、市内)

◆再開するものだと思っていたので、閉鎖されることには大きな違和感がある。(60代、市内)

◆市民不在。(70代、市内)

◆10000人を超える署名が届けられた。このような熱のこもったシンポジウムが開かれている。なぜ行政はこのような住民の思いに正面から向き合おうとしないのか。市庁舎建設、市民病院の廃止、坂本の災害対応から支所位置決定までのいきさつ、住民間にはさまざまな意見があったにもかかわらず、ある日突然、重大なことが発表され、決まっていく。何回、このような風景をみたことかと、なげかわしくなります。このような市民のエネルギーをうまく調和して、よりよい街づくりはできないものかと思えます。文化的象徴として厚生会館は残してほしいですね。(60代、市内)

◆閉鎖することなく、再開を強く希望いたします。市民の厚生会館を議会だけで勝手に決めてしまうことはおかしいと思います。今の市議会議員は会館の良さが分からない人たちの集まりのようです。(※年齢などの記入なし)

◆元々、でんでん館建築後は利用再開と聞いていたので、閉鎖になった詳しい経緯が知りたいです。電気設備が利用できなくなった云々と聞いたことがありますが、それではそれは当初の解体時の見積りが甘くて失敗したのか、もしくは工事の失敗なのか、予見できなかった甘さを閉鎖の一因に持って来ているのか、不思議です。厚生会館で

なくなる条例が通ってしまうことで、解体へ舵を切るのだと思います。何とかそれを防いでほしいです。(50代、市内)

◆厚生会館が閉鎖されるという報にショックを受け、その経緯を聞くたびに怒りと悲しさがこみ上げてきます。おそらく、決めた方々は厚生会館での「感動」を実際に味わうことが少なかったのだろうし、ひいては、都市にとって文化がいかに大切なのか、そして次世代を育てる視点が欠如していると強く感じます。(※年齢など記入なし)

◆行政の不作為が感じられ、違和感を覚える。(70代、市内)

◆なぜ壊すという発想になるのか、よくわからない！(70代、八代市外)

◆急ぎすぎ。市民の声を聴くべき！(60代、市内)

◆残念であり、閉鎖の理由が理解できない。(70代、八代市外)

◆でんでん館を造る前から解体を決めていたのでは？ 一部解体するにしても、次の段階を考え、工事作業するのが本来であり、現状からして、「なぜ？」という部分も多くあり、現市政の対応は疑問ばかり。(70代、市内)

◆残念。もう取り壊すことを前提に計画されていることが腹立たしい。新しいものを建てるより修繕した方が予算的にも安くなるような気がする。使用できるものをこわすのは残念。(70代、市内)

◆急に閉鎖になり、あっという間に解体という話になったように思え、びっくりします。(70代、市内)

◆知らないうちに「閉館」と聞き、ショックでした。市民の多くの方が同じ思いかも、と思っています。(70代、市内)

【運営、利活用に関連して】

◆ソフト面での運営に力を入れる必要があると思います。(40代、市内)

◆八代での文化事業が失われてきており、市民の楽しみがない。(70代、市内)

◆文化を数字に変換するべきでない。(60代、市内)

◆生涯の大きな部分を八代以外の土地で生活してきたため、厚生会館の少年時代、壮年時代を知らない。晩年時代の状態を見るにつけ、有効な使い方をされてこなかったのだという印象が強い。昨年の市との説明会において、正しいか適切かも明確でない補修費の数字を羅列して説明しようとする市の担当者の姿勢に、「ああ、これはこの会館をつぶしたいのだな」との印象をますます強く感じた。市民の側も責任を果たしてきたとは思っていない。もっとやり方や思いがあったのではないかな？ どうやって使っていくか、積極的になるべきだった。八代の文化度が低い。(80代、市内)

◆もっと使う方法はないか。(80代、八代市外)

◆大人の文化に対する思いが少ないので、子どもたちに正しいマナーとかを教えることができず、音楽会等での演奏マナーで恥をかかせることになると思うんですね。人口流出にもつながっているように思います。「八代には何もなかばい！」「八代では

何も楽しめない！」につながっているようですが。(50代、市内)

◆子どもたちにたくさんの発表の場、歌でも演劇利用する場を。子どもが発表すれば、隣のでんでん館も入場し、利用者数が増えるのでは？ 厚生会館の利用者があれば、でんでん館も利用者が増える。八代の文化を閉ざさないでください。周辺の松浜軒、八代宮等の史跡を商店街を含めて残してほしいです。(70代、市内)

◆なぜ使われないのか？ 耐震などの理由は取り払われると思います。使いたいと言っている人たちもいることを市はご存じないのでしょうか。使う側の意識も確かに必要ですが、市議の方々はお金などの面などで、ちゃんとした市民の意見に耳を傾けられているのか疑問に思います。(40代、市内)

◆白百合学園が近くにあったとき、ひんぱんに定期演奏会があっていた。学校の授業での使用。八代に映画館もないので、映写会など使ってほしいです。(50代、市内)

◆安全性さえクリアできれば、残してもらえたら、と思います。そして、今からの使用方法を考え、どんどん収益を増して、残して良かったと思えるように出来たら、と思います。(50代、市内)

【その他】

◆再開したら、いろいろなイベントに参加したかったので、残念でしかない。八代人の文化イシキの低さの表れ。(60代、市内)

◆八代にはハーモニー、鏡、千丁にホールがあるから、「他にもあるから、厚生会館は使わなくてもよかたい」的な感覚なのだろうと思います。弘前市民会館との違いは「それしかないから、使う」のか「他にもあるから、使わない」の違いではないでしょうか。ただし、他にあるからといっても、建物は唯一無二です。市はコンベンションセンターを言っていますが、多目的のアリーナはあくまでもアリーナです。劇場とは根本的に違うということ、市長はじめ、決めた方々は理解しておられるのでしょうか？ 意見にもあった、使う側の責任（どう使うか、使ってきたか、使っていくか）も重要だと思います。スライドで紹介された弘前市民会館は、20数年前、公演で行きました。芦原氏設計の東京芸術劇場は、改修工事をして利用されています。池袋駅前で立地も良いです。街の中心にあります。(――、市内)

◆この建物をなくすことにすごく残念です。残す方法を何とか考えないと。(60代、市内)

◆悲しい。(60代、市内)

◆絶対に残してください。(70代、市内)

◆くやしい。(70代、市内)

◆イメージ的には、現建物は八代城の本丸と思っています。外堀（別館）をうずめた（こわした）、議会の認識の低さを感じます。市職員（若い）の素直な意見を聞きたい。（市民である）若い貴方たちが主役です。「以下、従います」の意識しかない議員のお

そまつきこそ、市民の恥です。10億（20億× $\frac{1}{2}$ ）で出来ることから始める。お金のからない工夫をする。再建については、市に任せるのではなく、市民の建設団体の立ち上げを！（80代、市内）

◆今日のシンポジウムに参加された方々の思いと同じです。（70代、市内）

◆市議会で本題（厚生会館問題）についての議事録（市側の説明、議員との討論内容）をすべて知りたい。（――、市内）

◆解体して新たな箱モノを造るという、時代に逆行する動きだなと感じています。なぜ新八代駅の近くに新たに1000人オーバの箱モノを作る必要があるのでしょうか？先を見据えていない市政の愚策、市のおごりを感じます。人口減社会の先にあるものを見据えた市政ができないものかと、思うばかりです。（60代、市内）

◆言葉なし。あきれた。（70代、市内）

◆とても悲しく思います。ついこの間まで甲斐田栄先生に連れられてバレエ団のバレエレッスンを見学させていただいていたりしたのに、いつの間にか、使えない状態にされていて……。たしかに松浜軒、八代宮、厚生会館は、八代の3点セットだと思う。（50代、市内）

◆また再開してほしい。（70代、市内）

◆ぜひ再開を願う。（80代、市内）

◆会議棟が壊されて、でんでん館が建ったのはいいですが、会議室が少なくなって、とても不便です。市民会館も1000人規模のホールがなくて（利用できなくて）とても困っています。八代は文化設備がとても少ない！駅前に建てるというホールも体育施設です。文化ホールではありません。新しく建てるのなら改修よりもっとかかるはずです。今の建物をしっかり改修して、今後に残してほしい。日本ではすぐ何でも壊して、新しくするのはどうかと思います。（60代、市内）

◆現状についてのメディアの役割は大きいと思います。市民の何割が再開運動に関心を持っているのかというと、市報にもラジオでも話題になるような広報活動がされているかということ、ある意味、上からの圧力（？）で伏せられている印象です。また、市民レベルの意識も音楽活動家を除いて「別に」という程度ではないでしょうか。20年近く前に「アグネス」を上演しましたが、もう一度「アグネス」をやって、ホールの必要性をアピールする必要があります。市役所職員が市報の編集において「上に忖度せず」、再開運動の内容を報告すべきです。例えば、落成式の坂田道太さんの挨拶をラジオで流す、市報に書き起こすなどして、市民に知らせる。市民は改めて感動するはずです。（70代、市内）

◆さびしくなりますね。（――、市内）

◆大事な文化を残すためにも是非存続できるよう意見を出し合い、たくさん検討してほしい。（70代、市内）

◆もったいないと思います。音楽のすばらしさを感じています。（70代、市内）

- ◆とても悲しく、淋しいことです。もう素晴らしい音楽を、素晴らしい音で聴くことができないのかと思うと、残念で仕方ありません。また厚生会館でオペラやオーケストラを観たいです。(50代、市内)
- ◆八代にただ一つの文化事業の場所がなくなるのは、とても残念です。数年間ずっと、そのようになっていて、やっと反対運動が立ち上がったかという思いです。(70代、市内)
- ◆新しいものを作るより、歴史ある古いものを大事にしてほしいです。大きな建造物は、地元にはお金は落ちない(ゼネコンに流れて)と聞きました。地元を大事にしてほしいです。(70代、市内)
- ◆八代は文化都市です。この貴重な建物は文化遺産に匹敵するものです。未来にずっと遺りたいです。昔、市役所の上司の方にも「早く再開してください」と言ったこともあるのですが、「私に言われても…」とおっしゃって。その発言を市役所で掲げてほしかったですね。熊本で交響曲第九を長年やっています。八代にも「球磨川」という組曲があり、それもやりたいと、市役所の上司の方に言ったのですが……。八代も文化にもっと力を入れてほしいです。厚生会館は八代の誇りです。今はもう文化財みたいなものです。活用しましょう。(70代、市内)
- ◆残念、悲しい。八代の文化、マイナスヘー直線！(80代、市内)